爛漫と人咲きそろう林間に

ビールも解禁、４年ぶりの「本格」**交流会**です。米国ニューバージニア生まれ、テキサスで学んだジョヴィラさん、定年を機に今回初お目見えの山口圭一さんら新人５人をはじめ 18 人が集まりました＝写真。

自己紹介を聞くと、出身地は福岡、岡山、福井、東京･･･とさまざま。キャリアも多彩ですが、現在の活動も半端ではありません。ボーリング、コーラスなど趣味はもちろん、島熊山と別の竹林整備、自然ガイド、歴史ウォーク引率など活力には驚きです。

「タケノコや梅など自然の恵みもあるので、楽しみながら活動するのが長く続けるもと」という先輩からのアドバイスもありました。　　（小泉 清）

「遠く穏やかな森にいる」と感じる島熊山　**クリストファー　ロビン**

私たちは、アメリカから日本に去年の 4 月に引っ越しました。アメリカではテキサス州のオースティン市に住んでいました。引っ越しの主な理由は日本の自然でした。日本では、いろいろ自然を楽しむ所が近くにあります。山に登るとか、ハイキングするとか、公園で散歩するとか、全部の物はうちから近くです。

しかし、アメリカは広いんです。オースティンから、ハイキングのコースがある公園まで 2 時間ぐらい運転しなければいけないです。そんな公園は普通にぎやかすぎます。日本では、たくさん近所の公園があるけど、アメリカで近所の公園は珍しいです。アメリカの町は大概歩いて行けないから、公園で大きい駐車場がいります。普通アメリカで近所の公園は芝生と児童遊園の二つが主にあります。私たちが前にいたオースティンで、近所の公園はリトル・ステイシー公園でした。大きさは島熊山と同じぐらいだけど、とても違います。

オーステイン市のリトル・ステイシー公園

数億年前は海の底だったテキサス、公園の川辺で化石探し

リトル・ステイシー公園は大抵広い芝生です。少し木が（ピーカンナッツの木）、小川もあります。テキサスでは気温が年中とても高いから、植物のためにテキサスの公園は普通池や川などの水域があるんです。水域がない公園はサボテンだけ生えられます。

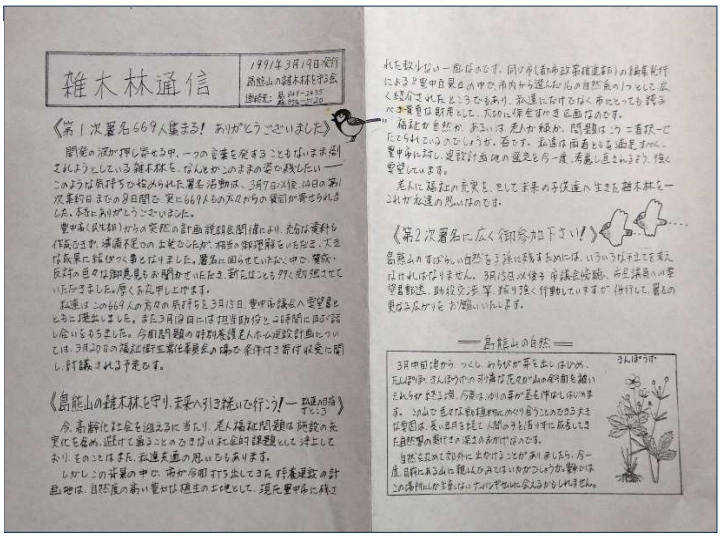
数億年前にテキサスは海の底でした。だから、地面の中でたくさん化石と貝殻が見つかります。リトル・ステイシー公園の小川のほとりに石があります。石の表面や石の中に化石と貝があるんです。化石を探すために石を砕く人が時々います。ラッキーだと石の表面に化石を見つけられるかもしれません。

しかし、島熊山はもっと自然を感じる気持ちです。リトル・ステイシー公園みたいな近所の公園の中でいることは、まだ近所か都市にいる感じがあるんです。でも、島熊山では、遠くて穏やかな森にいる感じです。私たちにとって、こうした散歩が一番大切な宝物なんです。

活動の足あと刻む「雑木林通信」～200 号を迎えて　　易 信子

1991 年 3 月 3 日、当会発足後間もなく 3 月 19 日に雑木林通信 1 号が発行されました。それから 32 年。発行は当初は毎月、途中から隔月、そして現在は季刊となっています。200 号まで継続できたことは、会員の皆様の日々の活動の賜物だと深く感謝しています。300 号を楽しみに、島熊山の生き物たちと付き合って参りましょう。

署名の成果を筆圧込めて書いた創刊号


雑木林通信

1991年3月19日発行
島熊山の雑木林を守る会
連絡先：易 06-[illegible]-2435

《第1次署名669人集まる！ ありがとうございました》

《島熊山の雑木林を守り、未来へ引き継いで行こう！ ―環境問題》

《第2次署名に広く御参加下さい！》

―島熊山の自然―

「訴える力に」通信最初の一歩

特別養護老人ホーム・グリンヒルが現在の地に建設されるという住民向け説明会の後、数人で発足した当会です。福祉も大切だが豊中の自然遺産を守ることも大切であると、市へ、市議会へ、近隣の住民へ訴える最適な手段が雑木林通信でした。30 年以上前ですからパソコンも未だ一般的ではなく、手書きで、イラストも自前で 500 部以上印刷していました。1 号を改めて読み返すと、行間からにじみ出る島熊山への熱い思いが今でも伝わってきます。

全力編集、「書きたいこと多すぎて」

1 号から 170 号まで亡夫、易寿史を中心に編集作業にあたりました。当初 B4 版 1 枚だった通信は 22 号からは B5 版 8 頁、60 号を過ぎる頃には B5 版 12 頁に定着し時々は 16 頁にもなっていました。凝り性の夫は 1 頁目の歳時記と季節の写真・文に毎号力を注ぎましたが、書きたいことが多すぎて、その分活字のポイントが小さくなり、「字が小さくて読めない」と言われたことも。各月の活動報告や特集記事、俳句、絵などたくさんの会員の皆さんの得意分野も活かしてもらいました。夫の病で 2015 年５月から一時休刊となりましたが、翌年１月には３人体制で再開できました。

動植物の変遷も映し出す

前述の特養ホーム・グリンヒルは半年の運動の結果、設計図を変更して後ろの雑木林を残し、林内の 23 本の樹木を移植することで決着をみました。その後、島熊山の動植物をもっと学びたいと毎月自然観察会を行います。毎秋 100 人近い子どもたちで賑わったどんぐり祭りや、くらしかんまつりで竹細工を売ったりと活動の範囲が広がりました。どんぐり祭りの感想を紙面に寄せてくれた子どもが大きくなり、自然を守る活動に携わっている話を聞くと嬉しいです。

雑木林通信
NO.78／1999. 11. 29
発行：島熊山の雑木林を守る会事務局
〒560 豊中市北桜丘 3-13-101
☎／FAX 06-(6819)-2435
タヌキ（ムジナ）

轢死した子ダヌキに目を注いだ 79 号（1999 年 11 月）

1999 年から開発で少なくなったタヌキ・キツネの餌場を確保しようと密生した竹林を雑木林へ変身させるべく森の手入れ活動を始め、現在に至っています。

かつては自動車ではねられるのはタヌキやキツネでしたが、近年ハクビシンやアライグマがはねられる報告に変わってきており、島熊山の動植物の歴史も読み取れる通信でもあると言えます。

☆「雑木林通信」をつくりましょう

編集者の欠員が続いています。島熊山の新たな歩みを刻む方の参加を熱望しています。易代表か編集担当者（小泉、高橋）に声をかけてください。

＊＊＊＊＊11～1月の予定（集合、持ち物は毎月同じ）＊＊＊＊

★森の手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11月12日（日）10時～12 時半
観察路整備　　豊島高校正門前集合　山の道具

☆清掃ハイク・モニ 1000 調査・・・・・・・・・・・・・11月19日（日）14時～16時
紅葉・赤い実楽しみながら　　豊島高校正門前集合　　ヒバサミ、鎌、あればチリトリ

◇配水場トンボ池調査・・・・・・・・・・・・・・・・・11月 22日（水）14時～15時
ヤゴや水生昆虫は見られます　　緑丘配水場集合　　鎌、長靴

12、1、2月 トンボ池調査はお休み。来春3月に再開します

★森の手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12月 10 日（日）10時～12 時半
新御堂側～基地の整備

☆清掃ハイク・モニ 1000 調査・・・・・・・・・・・・・12月 17日（日）14時～16時
落葉を踏んで大掃除

☆清掃ハイク・モニ 1000 調査・・・・・・・・・・・・・1月21日（日）14時～16時
大寒、2024 年の初仕事

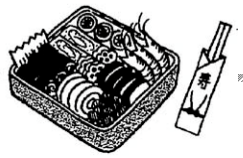
――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

■ナラ枯れ対策　　**水曜日　10 時～12 時**
11 月 1 、 8 、15、22、29 日／12 月 6 、13 日／1 月 17、24、31 日を予定
林床整備　　豊島高校正門前集合　　軍手、鎌、ノコギリなど
＊天候などの事情で中止・変更する際は、LINE グループ「島熊山」でお伝えします。
参加などのお問合せは、土田泰子班長か事務局へお願いします。

＊2024年総会　1月 14 日（日）　14 時～16時半　くらし館3階体験学習室

＊新年会　1月 14 日（日）　17時～19時　くらし館 1 階キッチンルーム

会費２０００円です。みんなで にぎやかに



ホームページ「島熊山の雑木林を守る会」

検索→島熊山雑木林　スマホですぐ読めます⇒

今号の編集担当　小泉 清